

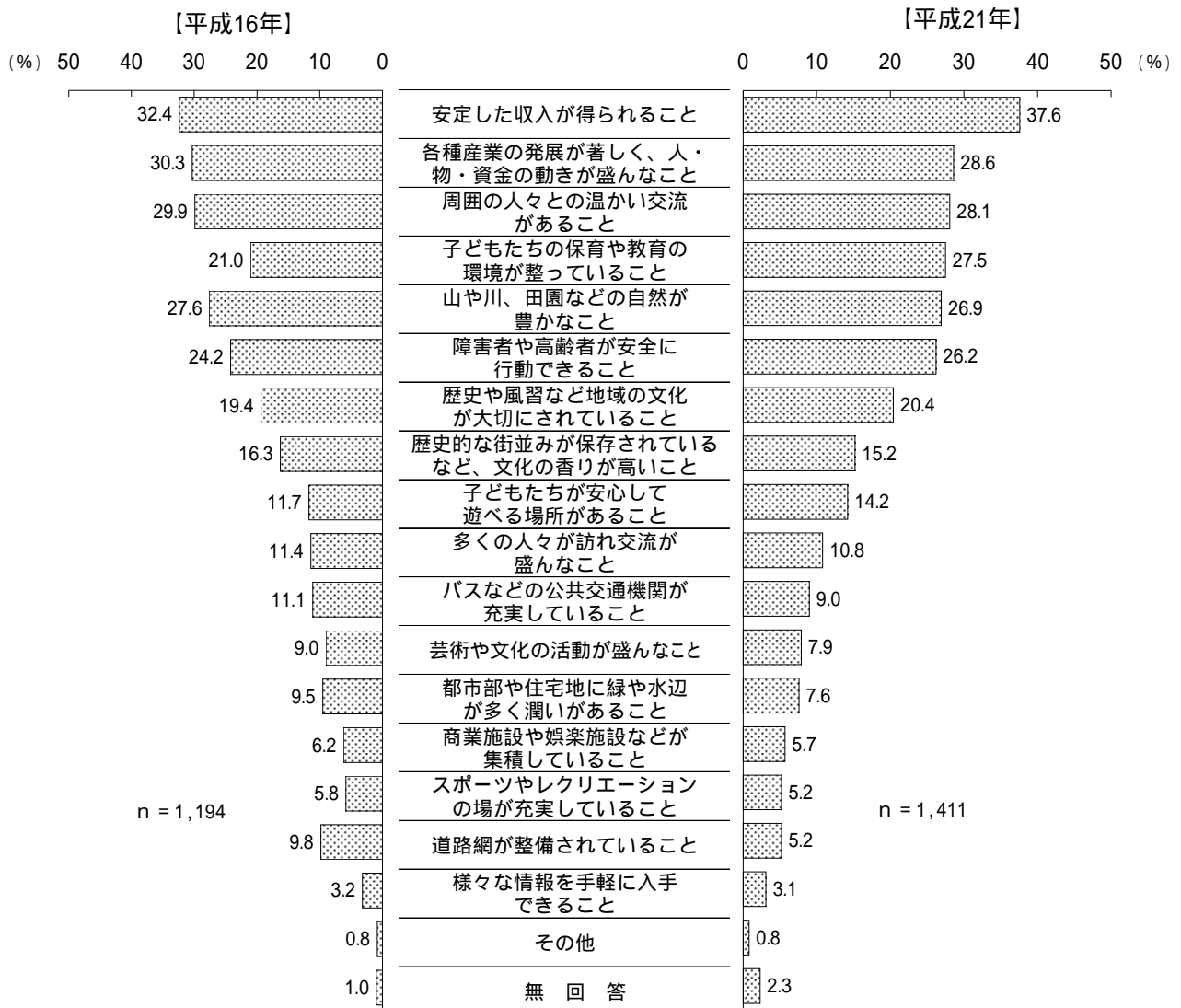
5 栃木県の将来像について

(1) 活力に満ちた郷土実感のために必要なこと

問9 あなたは「活力に満ちた郷土“とちぎ”」を実感できるようにするためには、どのようなことが必要だと思いますか。次の中から3つまで選んでください。

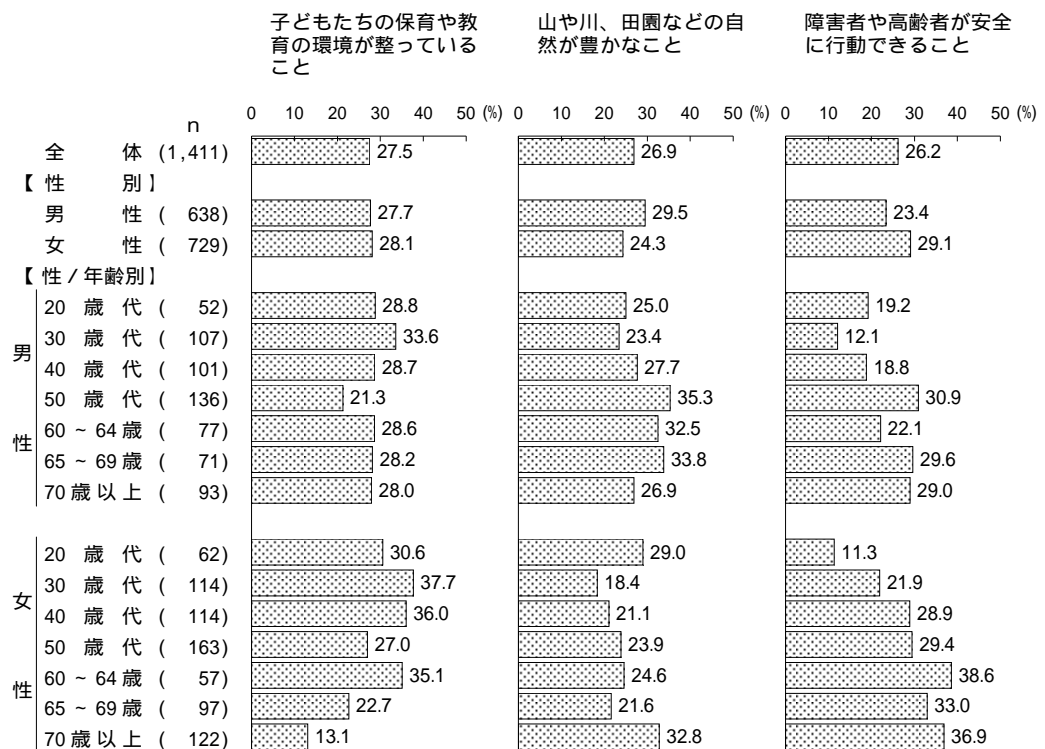
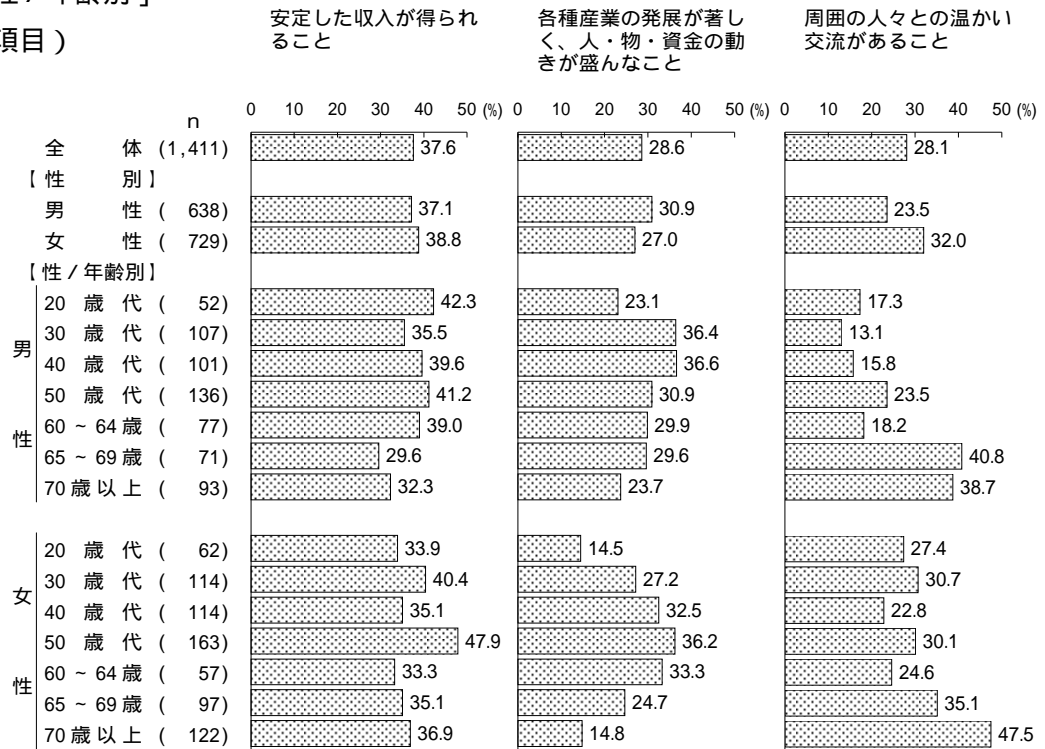
[n = 1,411]

1	周囲の人々との温かい交流があること	28.1%
2	歴史や風習など地域の文化が大切にされていること	20.4
3	歴史的な街並みが保存されているなど、文化の香りが高いこと	15.2
4	山や川、田園などの自然が豊かなこと	26.9
5	商業施設や娯楽施設などが集積していること	5.7
6	各種産業の発展が著しく、人・物・資金の動きが盛んなこと	28.6
7	安定した収入が得られること	37.6
8	様々な情報を手軽に入手できること	3.1
9	芸術や文化の活動が盛んなこと	7.9
10	スポーツやレクリエーションの場が充実していること	5.2
11	都市部や住宅地に緑や水辺が多く潤いがあること	7.6
12	多くの人々が訪れ交流が盛んなこと	10.8
13	子どもたちの保育や教育の環境が整っていること	27.5
14	子どもたちが安心して遊べる場所があること	14.2
15	障害者や高齢者が安全に行動できること	26.2
16	道路網が整備されていること	5.2
17	バスなどの公共交通機関が充実していること	9.0
18	その他	0.8
	(無回答)	2.3



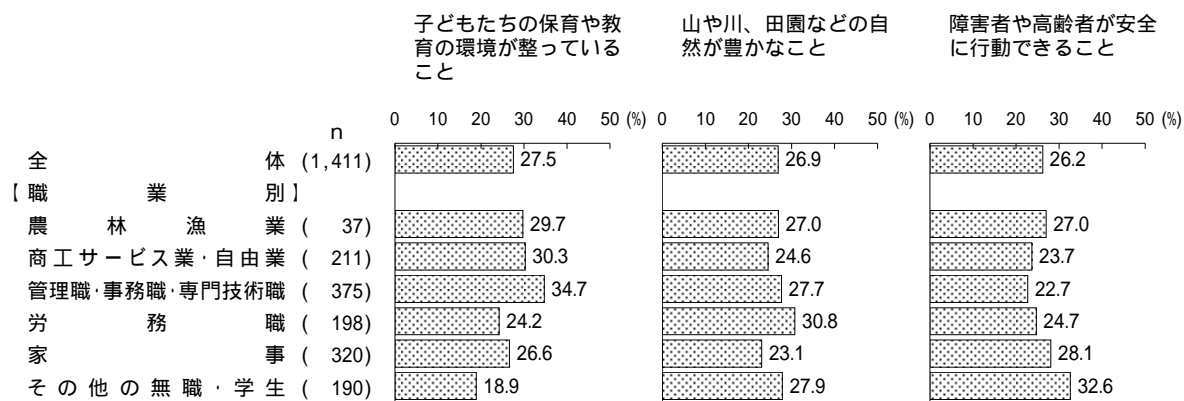
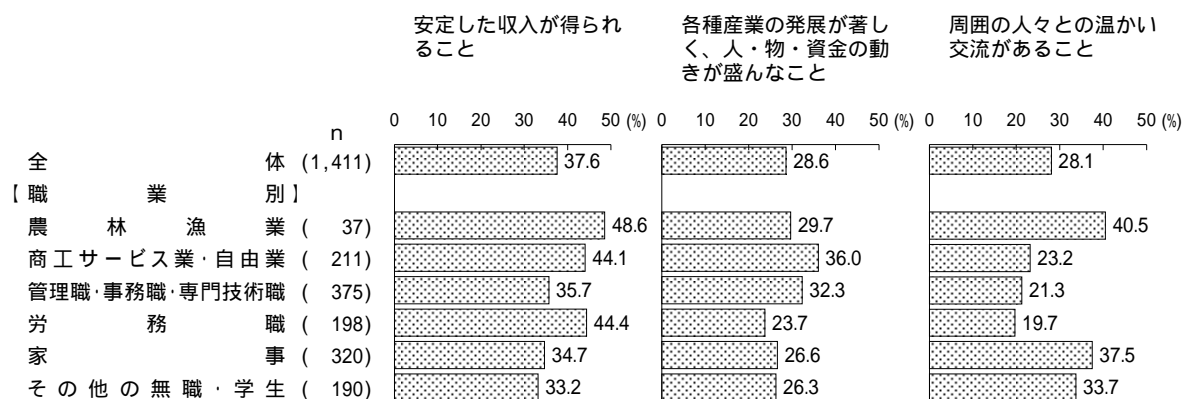
- ・ 全体で見ると、「安定した収入が得られること」(37.6%)が4割近くと最も高く、次いで「各種産業の発展が著しく、人・物・資金の動きが盛んなこと」(28.6%)、「周囲の人々との温かい交流があること」(28.1%)、「子どもたちの保育や教育の環境が整っていること」(27.5%)、「山や川、田園などの自然が豊かなこと」(26.9%)、「障害者や高齢者が安全に行動できること」(26.2%)の順となっている。
- ・ 前回(平成16年)の調査結果と比較すると、「子どもたちの保育や教育の環境が整っていること」が6.5ポイント、「安定した収入が得られること」が5.2ポイント増加している。一方、「道路網が整備されていること」が4.6ポイント減少している。

[性別・性/年齢別]
(上位6項目)



- ・ 性別で見ると、「周囲の人々との温かい交流があること」では 女性（32.0%）が 男性（23.5%）より 8.5 ポイント高く、男女間の差が最も大きくなっている。
- ・ 性/年齢別で見ると、「安定した収入が得られること」では 女性50歳代 が47.9%と最も高くなっている。また、全体平均と比べて差が最も大きくみられるのは、「周囲の人々との温かい交流があること」の 女性70歳以上（47.5%）となっている。

[職業別]
 (上位 6 項目)



- ・ 職業別で全体平均と比べて差が大きくみられるのは、「周囲の人々との温かい交流があること」の 農林漁業 (40.5%)、「安定した収入が得られること」の 農林漁業 (48.6%) となっている。